

ホットニュース『三重の力を世界へ』

忍者文化研究欧州巡回プロジェクト ラスト・ニンジャ、三重から世界へ!



講演実演会日程及び会場

- 11月17日：ロンドン (ロンドン日本文化センター：国際交流基金)
- 11月19日：アリカンテ (アリカンテ大学)
- 11月20・21日：バレンシア (バレンシア大学)
- 11月24日：バルセロナ (カサ・アジア)
- 11月26日：マドリッド (マドリッド日本文化センター：国際交流基金)
- 11月28日：ローマ (ローマ日本文化会館：国際交流基金)

漫画やアニメの影響により、今や“忍者”は”NINJA”として世界中に知られることとなりました。しかし歴史上の「本当の忍者」とは一体どのようなものだったのでしょうか?独立行政法人国際交流基金も「正しい忍者」を伝えたいという思いがあり、そこで「歴史上の事実としての『忍び』と文化現象としての『忍者』」という視点で、ヨーロッパ各地で講演・実演会を開催することになり、三重大学から「最後の忍者」である川上仁一社会連携特任教授、日本史の山田雄司教授(人文学部)、近世文学の吉丸雄哉准教授(人文学部)が参加しました。

2014年11月20日(木)、21日(金)、三重県の姉妹都市であるスペインのバレンシア州において、忍者研究に関する講演・実演会とシンポジウムを開催し、三重大学からは川上仁一社会連携特任教授と山田雄司教授が参加しました。両日あわせて300人ほどの方が来場し、忍者研究に関する注目や人気さがうかがえました。

今回は海外講演をされた先生方にイベント当日の様子と感想、そして忍者についてインタビューしました!



「忍者」は世界中で注目されているんだね!



川上先生は約500年前から伝わる忍術を受け継いだ、甲賀伴党21代宗師家なんだよ!



人文学部・教授
山田雄司



社会連携特任教授
川上仁一

海外講演を終えた先生方に 聞きました!

Q1

どうして忍者は世界で人気なの?

忍者を題材とした漫画やアニメがさまざまな言語に翻訳されよく知られていますし、超人的イメージにより忍者にあこがれているのだと思います。

Q2

忍者を研究する目的は?どうやって研究するの?

未公開の忍術書の分析などを行うことにより、単なるエンターテインメントではなく、学術的根拠のある忍者を創り上げたいと思っています。

Q3

忍者を研究することでどんなことが期待できるの?

忍術について文系・理系両側面から分析することにより、忍者の知恵から現代社会を生きていくヒントが得られると思っています。

Q1

バレンシアでのシンポジウムを終えて、感想は?

海外の方々の忍者に対する関心の深さには率直に驚きました。会場は男女を問わずの超満員であり、皆さんが静粛に耳目を凝らして聞き入り見入っておられたのが殊に印象深かったですね。

Q2

忍者って何をしていたの?忍術とは一体何?

忍者は主に相手方の偵察や謀略工作、奇襲・攪乱などを専門に行っていたようです。忍術はそのための技術を江戸時代に大成したのですが、総合的な生存技術ともいえる内容です。

Q3

忍者研究や忍術は現代(日常生活)で活用できるの?

忍術は戦いを避け、互いの損失を少なく自己に優位に保つための技術の集積で、情報を大切にしており、複雑な現代社会においてこそ、シンプルに活用できる忍者精神や生きる知恵が多いと思います。

三重大学公開講座

古文書講座



市民講座



伊賀地域と連携して忍者についての公開講座を開催しているよ!

忍者は世界で人気!!
だけど...

研究不足による誤ったイメージの拡大

そこで!

眠っていた文化遺産を研究!

- 食についての記述
- 伝統的医療・薬草について
- 忍者としての心がまえ、健康維持について

生活の知恵を現代へ活用

植物からの機能性物質の発見

正しい忍者像

日本文化の理解

伊賀観光の増加

三重の力を世界へ